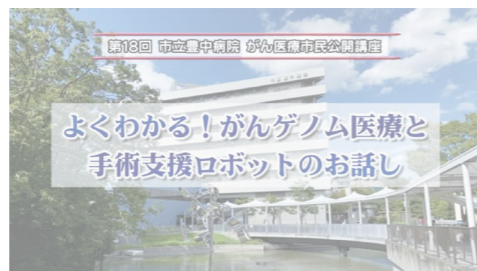


『よくわかる!がんゲノム医療と手術支援ロボットのお話し』をテーマに、令和2年(2020年)11月に開催した「がん医療市民公開講座」を豊中市公式ユーチューブチャンネル「とよなかチャンネル」で映像配信しています。ご興味のある方は、市立豊中病院の「がん医療公開講座」のページからも動画を視聴できますので、ぜひご覧ください。

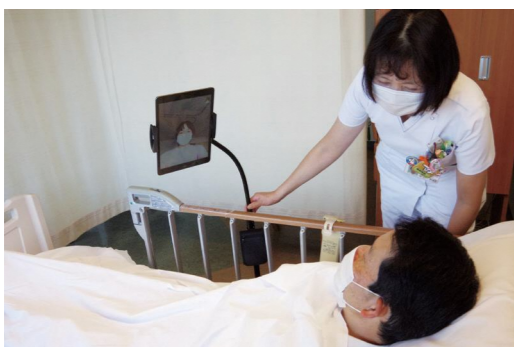
がん医療公開講座 豊中市 🔍

- 第1講 がんゲノム医療ってなに？
- 第2講 からだにやさしい手術
～手術支援ロボットを使ったがん治療～
- 質疑応答

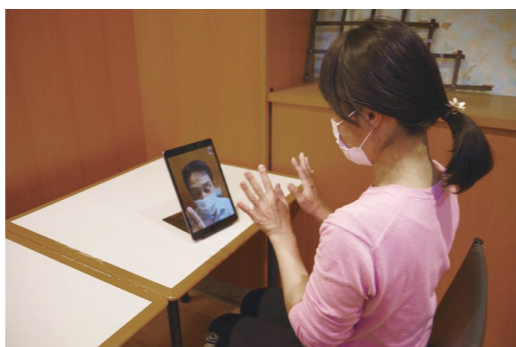


オンライン面会を実施しています。▶▶▶

当院では、感染症拡大防止のため入院患者さまへの面会を制限していますが、入院患者さまとご家族の不安を軽減し、少しでも面会をしていただけるよう、オンラインによる面会を導入しております。事前予約制で、電話又は当院面会受付コーナーでお申込みいただけますので、お気軽にご利用ください。



病室(入院患者さま)の様子



1階面会場所(面会希望者)の様子

【オンライン面会ご利用について】

利用時間:月曜日～金曜日 14時～、14時30分～、15時～、15時30分～(1日4枠)

面会時間:15分間

面会方法:ご来院いただき、面会受付コーナー(1階)にお越しください。スタッフが面会場所にご案内します。1階面会場所と病室をオンラインでつなぎ、面会していただけます。

申込受付時間:月曜日～金曜日 9時から17時まで(面会希望日前日までに申し込みください。)

とよなか新型コロナウイルス対策基金 ▶▶▶

寄附受付サイト内に市立豊中病院の専用ページを開設しています。どうぞ温かいご寄附をお願いいたします。

豊中市寄附受付サイト 🔍

その他病院運営へのご寄附も受け付けております。当院ホームページをご覧ください。



がんゲノム医療ってなに？



市立豊中病院は国指定の地域がん診療連携拠点病院として幅広い分野で専門スタッフががん診療にあたっています。がん診療は、日々新たな薬剤や治療法が開発されていますが、その中でも今、「がんゲノム医療」が注目を集めています。今回は新たながん医療「がんゲノム医療」についてご紹介します。

基本理念

豊中市の中核病院として『心温かな信頼される医療』を提供します。

基本方針

- 1 患者さんの立場に立った心温かな病院をめざします。
- 2 地域の中核病院として安全で質の高い医療を提供します。
- 3 医療機関等との連携を密にし、市民の健康を守るために努力します。
- 4 少子高齢社会に対応する医療を推進します。
- 5 病院職員の教育・研修の充実を図ります。



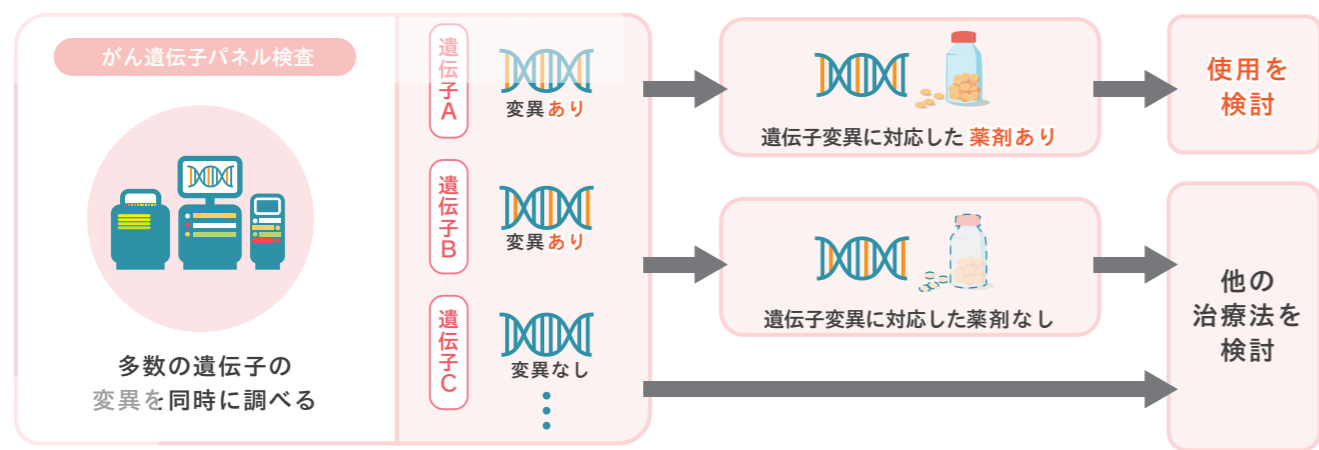
1 がんゲノム医療とは

“がん”は遺伝子の変化(変異)によって発症する病気とされており、その変異は患者さまによって異なります。“がんゲノム医療”は、患者さまのがん組織を用いて、ゲノム(遺伝情報全体)を調べ、一人ひとりのがんの変異(原因)を明らかにし、その人の体質や病状に合わせて治療などを行う医療です。

従来のがん治療は、がんが発生した臓器やステージ(病期)ごとに画一的に定められた「標準治療」を行っていたのに対して、“がんゲノム医療”は、患者さま一人ひとりのがんの遺伝子変異を“がん遺伝子パネル検査”※で調べることによって有効な薬剤の選択をめざす「個別化医療」と言えます。



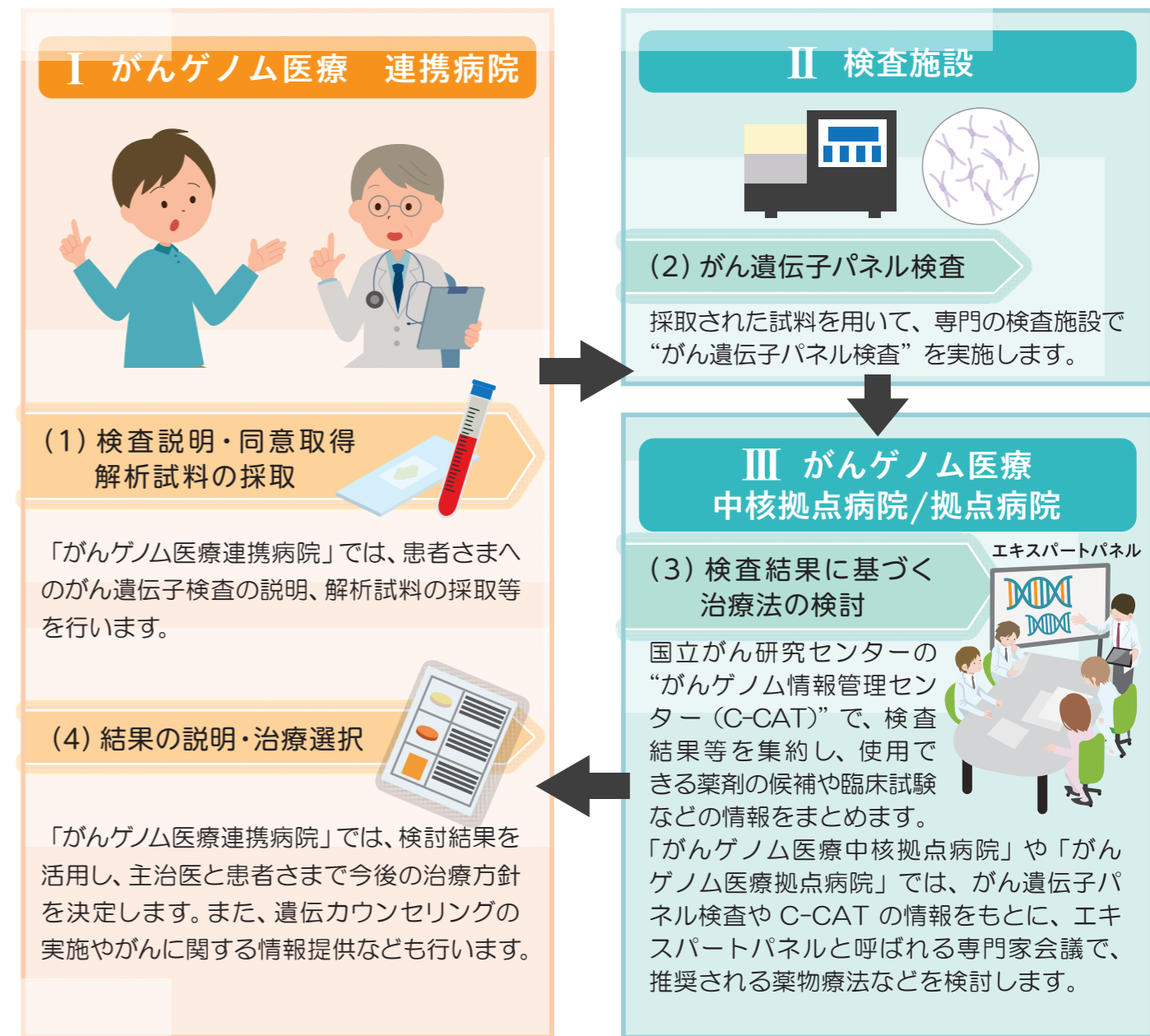
がん遺伝子パネル検査の流れ



2 がんゲノム医療はどこで受けられるの？

国は、全ての都道府県でがんゲノム医療の提供が可能となることをめざしており、現在、“がんゲノム医療”を実施できる病院として「がんゲノム医療中核拠点病院」12施設、「がんゲノム医療拠点病院」33施設、とそれらと連携する「がんゲノム医療連携病院」161施設を指定しています(令和2年(2020年)4月時点)。当院は、「がんゲノム医療連携病院」の指定要件を満たしており、令和3年度(2021年度)、連携病院として“がんゲノム医療”を推進していく予定です。

3 がんゲノム医療の治療選択のながれ



4 どのような人が受けられるの？

現在、保険診療として実施できる“がん遺伝子パネル検査”はすべてのがん患者さまが対象となるわけではありません。現時点では、(1)“希少がん”など標準治療がない人、(2)標準治療が終了した人、(3)標準治療の終了が見込まれる人、に限って保険適用となります。

5 “がんゲノム医療”の今後の展望

現在はがんゲノム医療を受けられる対象が非常に限られていますが、今後もっと早期の段階から“がん遺伝子パネル検査”を実施し、薬剤を適切に選択できることが望ましいと関連学会からも提言されており、現在もさまざまな検査方法の研究が進んでいます。“がんゲノム医療”の今後の進展に、是非ともご注目・ご期待いただきたいと思います。